



泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866
中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672
七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580
旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111
内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
七城公民館図書室 日曜日・祝日
旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

司書のつぶやき
プール帰りの子どもたちが来ると、夏を実感します。
コスモス



新着・お薦め図書

泗水図書館

総理に告ぐ	永瀬隼介 著
傀儡に非ず	上田秀人 著
殉教者	加賀乙彦 著
極悪人の肖像	イーデン・フィルポツツ 著
後妻白書	土藤美代子 著
ド・ローラ・節子のきもの暮らし	節子・クロソフスカ・ド・ローラ 著
こぶたものがたり	中澤晶子 作
このあとどうしちゃう	ヨシタケシンスケ 作

中央公民館図書室

孫と私の小さな歴史	佐藤愛子 著
やさしいうつの治しかた	弥永英晃 著
かんかん橋の向こう側	あさのあつこ 著
たまご絵日記	ナナイロペリカン 著
うめ婆行状記	宇江佐真理 著
トーマスとヒロのだいかつやく	ウィルバート・オードリー 作
おめんです	いしかわこうじ 作・絵

七城公民館図書室

天草	ダイヤモンド・ビッグ社 著
硝子の太陽 Rouge	菅田哲也 著
空へ	いとうみく 作
むしとりにいこうよ!	はたこうしろう 作

旭志公民館図書室

バベル九朔	方城白学 著
僕が食べたい和そうざい	笠原将弘 著
ぎょうれつのできるレストラン	ふくざわゆみこ 作
なでなでももんちゃん	とよたかずひこ 作・絵

こんにちは

旭志公民館図書室です!

旭志公民館図書室は、旭志公民館の1階にあり、入り口にはかわいいゾウの看板が出ています。図書室では本や雑誌、紙芝居など約9千冊を所蔵。室内に妖怪が隠れていたり、ミニ絵本の入っている手作りのガチャポンがあったりと、子どもたちが楽しく過ごせる仕掛けがたくさんあります。窓側にはカウンターがあり、他にもゆったりと座れる椅子があるので、読書をゆっくり楽しめます。

月に1回のおはなし会やその他イベントも開催しています。新刊や話題の本、映像化作品コーナーと蔵書もますます充実させていきます。

地震で図書室も大きな被害を受けましたが、多くの人に片付けなどを手伝っていただきました。たくさんの人から元気をもらい、励まされました。今度は図書室から元気を届けたいと思っています。

旭志公民館図書室にお越しく下さい!



耳より情報

第7回読書感想画・ブックレターコンクール作品募集

旭志公民館図書室で、読書感想画・ブックレターコンクールの作品を募集します。入賞者は菊池市旭志文化祭で表彰します。皆さんの応募をお待ちしています。

募集期間 8月1日(月)～9月30日(金)

対象 小・中学生

応募規定 ①感想画…画用紙、大きさ自由

②ブックレター(感想文)…原稿用紙1枚程度

問い合わせ・申込先 旭志公民館図書室



リサイクル本の配布を中止します

7月23日(土)に開催を予定していた社会を明るくする運動菊池市集会の中止に伴い、リサイクル本の配布を中止します。ご理解いただきますようお願いいたします。

図書館(室)の上手な使い方

小さいお子さんも一緒にお越しく下さい

小さい子どもを連れて図書室に行きにくいな、絵本はまだ早いかなと思っていませんか。字の読めない子どもでも、絵本を読んでもらったり、語りかけてもらったりすることは、とても大切な体験です。図書館(室)には、小さいお子さんも楽しめる絵本コーナーがあります。絵本選びに困ったときは、図書館員に気軽にお尋ねください。



万句の里俳句会 5月例会
風強き日は夏蝶の逞しく
光本とよいち
黙々とボランテアの背薄暑かな
小山 照子
うくひすの声にほぐるる地震のあと
田中 美智
どこまでも明るき夕日麦の秋
岩木 敬治
一輪の牡丹天使の如くあり
野中 公枝
せせらぎ俳句会 5月例会
農道を色鮮やかな雉子夫婦
服部 静子
菖蒲湯に地震疲れの身を沈め
藤本 邦治
葉桜の下に遊ぶやお飯事
五丁 義昭
草取りを終え夕月を仰ぎけり
寺本 和子
張り替えし網戸に風の心地よき
藤本アツ子
旭志文芸教室俳句の会 5月詠草
ゆつくりと余生楽しや春菜蒔く
芹川のり子
名城を一瞬にして春地震
中尾ヨシコ
美濃の春古城を巡る米寿かな
芹川 蓉子

地震禍も知らず蜜の恋あかり
水谷 ミネ
肥後狂句水笑会 5月例会
海外旅行 一ぺんくらい行てみたか
御手洗三代
海外旅行 止めたがよかよ銭うして
平井 紅彩
年の差婚 孫と間違う我が子抱き
宮上 美由
食い放題 医者どん代が高こついた
小崎 海美
想定外 災害見舞いもらおとは
中島 五女
七城短歌会 5月詠草
地震ありて八十路の分別今なりき息
子の住まいに移るやむなし
佐々 重弘
五年振りつばめ水仙庭に咲く余生い
くばく吉兆ならしめ 池田カツ子
激震の西原村に友ありぬ子まごが救
援に発つを見送る 緒方 寛子
余震とて地鳴り伴う長き揺れ停電か
さなり身体動かぬ 緒方 正俊
卯の花がウツギと友に教わりて開花
と仄けき香り待つらむ 高木 精
「里」短歌会 5月詠草
春の陽の温もり浴みしチューリップ
つばみ綻ぶひと日の中に 安見 朱實

庭すみに小さき十字の花咲かせかす
かに香る梅花空木の 林 淑子
降下する窓に張りつく若き女性二人
の姉は益城に住むと 坂本 玲子
「つつくしいひと」に映像残しふるさ
との町、山崩るる熊本地震
松本 和子
震災の余震の続き驚かざる障子の
音にも戦げる葉にも 川口 敦子
さわやか大学文芸クラブ6月歌会
真夜中に震度六強の大地震避難勧告
停電の中 安東 綾子
激震の走りし夜の車中泊空は漸く白
み明けゆく 岩根 博恵
シンボルの熊本城が崩れゆくテレビ
を前になす術もなし 山田 弘子
水・水・水どれだけ私は待ったたら
う「日田天領水」やと購う 山代 静子
地震より体調崩しうつの日々亡夫の
手植ゑの白牡丹咲く 北村 玉恵
菊池短歌会 6月詠草
避難所へ支援物資の六〇〇〇畳全国
各地の心は届く 古賀 勝士
あかときの眠りを破り尚揺りて天の
試練か余震続き 中川 愛子
近づけば死を装はひて動かざる虫の
一生をヒトは生き得ず 怒留湯健蓉



未だ余震八十八夜も遠にすぎのびた
る茶葉を摘みて安堵す
林 まつ子
くれなるにこよなく耀ふ紫陽花かま
ためぐり来し女孫の忌日に
村上さき江

